

# 東風吹かば

豊作特大号  
平成26年度

## 進路活動本格始動

「二学期二学期」は高校生活の折り返し地点、これから後半戦をどう乗り切るかが勝負の肝

### 「定期」と「模試」

暑さ、寒さも彼岸まで：というが、今年の秋の到来は、例年に比べて早かった気がする。気候、気温的にそう感じるところもあるが、実り多きこの季節、高校生（特に3年生）にとっては、目標を叶えるべく、進路活動が本格的な展開を見せる時期でもある。今年度、本学年白梅諸君にとっても、比較的小規模であるが、より具体的な進路活動を意識した新学期の始まりであった。

### 「寸劇」・「進路別」

今年度の夏休みは、オープンキャンパスへの参加やインターンシップ体験を通して、各自が自分の将来と進路について今まで以上に真剣に考えた者もいたであろう。一方で、部活動中心の生活で、合宿や大会等に参加し、より高いスキルを身につけると同時に、全国レベルの雰囲気に触れ、自身やチームに優れた成績をもたらしたことを始業日に耳にした。後の「文武両道」の成果はどうだろうか？

### 「本気の冬」到来

読み取ることが出来る。特に、受験者数の多い「進研模試」や「進路マップ」、「全統(河合塾)模試」、「駿台」、「代ゼミ」等の大手塾が主催している模試は、今後の進路活動において重要な資料となることはいうまでもない。

### 「寸劇ガイダンス」

学期明けの9月10日、2学年A・Bコースの生徒対象に、本校体育館において「寸劇ガイダンス」体育館、仮設教室、生物室、美術室を使用した「進路別ガイダンス」が実施されました。

東風(こち)吹かば にはひおこせよ梅の花  
あるじなしとて 春を忘るな  
菅原道真

そしても、冬がやってくる。卒業を控えた3年生や受験生にとっては「本気の冬」の到来だ。一年後、2学年の諸君にもこの季節は必ずやってくる。推薦入試や就職試験を突破し、卒業後の準備に追われているか。年明けのセンター試験や、一般受験の対策に必死に取り組んでいるかもしれない。もしかすると、何も進路について考えてなかったことでも何をしたらいいのかわからず、途方に暮れているかもしれない。

「今、やるべきことは何なのか？」を自分なりに分析し、来年の冬に向かってこれからの一年間、コツコツと準備を重ねていくことが得策であろう。

「ローマは一日にしてならず」諸君の進路に関しても、準備万端の体制で「本気で悩む冬」ではなく「本気で勝負の冬」にしたいものだ。

進路の相談や決定は、誰の意見を参考にしますか？  
1. 学校の先生 23.6名  
2. 保護者 17.3名  
3. 先輩 5.2名  
4. 友人 4.6名

卒業後の進路を決定する時期はいつですか？  
1. 2年生のうち 64%  
2. 3年の一学期 17%  
3. 3年の春休み 9%

志望校を決める時、どんな点を重視しますか？  
1. 就職率 12.4名  
2. 資格取得率 11.0名  
3. 学費 10.9名  
4. 交通の便 7.2名  
5. 学校の設備 6.7名  
6. 学園生活の充実 5.2名

こちらは全コース対象の集計結果です。夏休みのオープンキャンパスに参加して「分かったこと・気づいたこと」をまとめました。

◆努力しないといけないと思った。◆実際に見たのとパンフレットの情報の違いに驚いた。◆パンフレットやホームページだけでは把握できないことがたくさんあった。◆大学、学生の雰囲気や直接感じることができた。◆2つ以上の大学を見比べてみて、自分に合った大学を見極めたい。◆サークル活動が楽しそうなのばかりだった。◆高校との施設の違い(大きさや充実度)に驚いた。◆勉強以外にも、ボランティア活動や校外活動にも力を入れたと感じた。◆本当のことは、入学して見ないと分からない。◆学食が安くて、美味しかった。◆もっと視野を広げて考えなければならぬと思った。◆図書館の設備や書物の充実さに感動した。◆受験まで何をすればいいのか説明を受け、具体的な目標ができた。◆まだまだ自分の知らないことがたくさんあるのだ、ということが分かった。◆部活動が忙しくて行けなかった。◆特にありません。◆大学と専門学校を見てきたが、いろいろな説明や体験を通して、自分自身がより進路実現という目標に近づけたと思います。◆この大学に絶対入りたいと決意しました。

来月8日から14日まで、ST・Sコースの78名は、カナダ・アメリカ方面の修学旅行に出發します。当地ではバンクーバーを拠点に、サレー市内の38家庭に2人1組、3泊のホームステイをします。滞在最終日にはバスで国境を越え、アメリカ合衆国・シアトル州へ。マリナーズのホームスタジアム、セーフコ・フィールドや全米最古のパイク・プレイス・マーケットなどを見学します。高校生活最大のイベントの一つ、修学旅行。旅行期間中、寝食を共にすることで、クラスメイトとの親睦をより深めることになるでしょう。また、ホームステイを通して、英語でのコミュニケーションで現地の生活を直接体験・体感することができます。学校交流では、異国の教育状況やその文化に触れることで、新たな見識が広がるかもしれません。これからの人生において、最高で最良の旅となること必至です。



進路意識調査アンケート集計結果  
A・Bコース対象「進路別ガイダンス」に関連して行なわれた進路意識調査アンケートの集計結果をまとめました。上位主だったものを中心に紹介します。今後の参考にしてください。(ガイダンス参加生徒数A・Bコース248名実施)

あなたが希望する進路について  
1. 大学(短大) 53%  
2. 専門学校 22%  
3. 就職 16%  
4. 未定 9%

進路の相談や決定は、誰の意見を参考にしますか？  
1. 学校の先生 23.6名  
2. 保護者 17.3名  
3. 先輩 5.2名  
4. 友人 4.6名



卒業後の進路を決定する時期はいつですか？  
1. 2年生のうち 64%  
2. 3年の一学期 17%  
3. 3年の春休み 9%

志望校を決める時、どんな点を重視しますか？  
1. 就職率 12.4名  
2. 資格取得率 11.0名  
3. 学費 10.9名  
4. 交通の便 7.2名  
5. 学校の設備 6.7名  
6. 学園生活の充実 5.2名

こちらは全コース対象の集計結果です。夏休みのオープンキャンパスに参加して「分かったこと・気づいたこと」をまとめました。

◆努力しないといけないと思った。◆実際に見たのとパンフレットの情報の違いに驚いた。◆パンフレットやホームページだけでは把握できないことがたくさんあった。◆大学、学生の雰囲気や直接感じることができた。◆2つ以上の大学を見比べてみて、自分に合った大学を見極めたい。◆サークル活動が楽しそうなのばかりだった。◆高校との施設の違い(大きさや充実度)に驚いた。◆勉強以外にも、ボランティア活動や校外活動にも力を入れたと感じた。◆本当のことは、入学して見ないと分からない。◆学食が安くて、美味しかった。◆もっと視野を広げて考えなければならぬと思った。◆図書館の設備や書物の充実さに感動した。◆受験まで何をすればいいのか説明を受け、具体的な目標ができた。◆まだまだ自分の知らないことがたくさんあるのだ、ということが分かった。◆部活動が忙しくて行けなかった。◆特にありません。◆大学と専門学校を見てきたが、いろいろな説明や体験を通して、自分自身がより進路実現という目標に近づけたと思います。◆この大学に絶対入りたいと決意しました。